

仏教保育

6
June

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ほとけの心

第7回理事会 / 第5回運営審議委員会 / 第3回社員総会
／平成26年度第1回仏教保育研修会 平成26年5月13日 / 増上寺光摂殿

制度はどう変わろうと “ほとけの子”を育てる理念は不変！



研修会講師の
田中先生



福岡・吉岡先生



京都・日野先生



緑谷理事長



神谷先生の乾杯で



八木名誉会長



懇親会風景



仏保功労賞受賞の小俣先生

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は5月13日、大本山増上寺光摂殿において標記の各会を開催しました。少子化・核家族・地域の子育ての力の低下等が取り沙汰されて久しいなか、子ども・子育て関連3法が実施される平成27年度から、子育てを支援する新しい制度がいよいよスタートする予定になっています。そうした背景を踏まえたおりにだけに審議にもひとときわ熱がこもり、白熱した質疑応答が続きました。

また、今回の仏教保育研修会は、田中雅道先生（公財・全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長）を講師に迎えて、「教育の視点から見た新制度の課題」というテーマのお話を頂きましたが、（要旨は次号掲載）、司会者が時間切れを告げるほど質問が相次ぎ、関心の高さが窺えました。

理事会

緑谷理事長の主旨で三婦依文斉唱のあと同理事長は、「子ども・子育て新制度にどう取り組むか、幼保の進み方、公定価格の問題など、多くの難しい判断を迫られることになると思われるが、私たち仏教園は『ほとけの子』を守り・育てることの理念を貫くことが園存続の要諦であると思う」と挨拶し、活発な審議を要請しました。

司会・進行の五島事務局長より理事長が議長に就くことを告げ、会の進行手順等の説明のあと所管する担当理事から議案が上程されました。

- 1. 平成25年度事業報告
- 2. 平成25年度収支決算・監査報告
- 3. その他

議案1・2については、慎重かつ活発な討議が交わされたのち、全員の挙手によって承認されました。

議案3については事務局から、25年度の菩提樹学園訪問は現地ブツダガヤ近郊での爆破と思われる事件発生のため中止しているため、その節は参加を

お願いしたい、と呼びかけがありました。

次いで、第33回全国仏教保育京都大会の準備状況等について、日野大会実行委員長から全体会の流れ、分科会設定の経緯、懇親会における「おもてなし」などの詳細な説明に加え、暑い京都ならではの観光の楽しみ方なども話されました。

また、福島の吉岡先生からは、懸案の福島支部の設立総会を5月27日に予定していること、第34回の全国大会実施も視野に入られて協議を進めていることも報告されました。

運営審議委員会

会に先立って五島事務局長から、運営審議委員会の議長は原則では選考委員会に諮って選任するが、理事長が兼務できると、議案の賛否は挙手を原則とするなど伝えられ、本会議長が運営審議委員会の議長を兼務する形で会を進行することになりました。

- 1. 平成25年度事業報告
- 2. 平成25年度収支決算・監査報告
- 3. その他

社員総会

の3議案。それぞれ所管する理事から配布資料に基づいて説明があり、1・2の議案は全員の挙手で承認されました。3のその他については、日野大会実行委員長から京都大会の準備状況等の報告。吉岡先生から、5月27日の福島支部設立総会の経緯。事務局から、平成25年度はブツダガヤ近郊での爆破事件発生のため菩提樹学園訪問を中止したが、26年度は実施に向けて検討している、などの説明がありました。

緑谷理事長の主旨で三婦依文が斉唱され、同理事長挨拶のあと定款に則って緑谷理事長が議長に就任。五島事務局長より、定足数を充たしており本会は成立する旨を述べてから、議案の審議に入りました。

- 1. 平成25年度事業報告
- 2. 平成25年度収支決算・監査報告
- 3. 平成26年度事業計画
- 4. 平成26年度収支予算
- 5. その他

1号議案から5号議案まで、所管の理事から上程・説明があり、慎重かつ活発な審議を得て

全員の挙手によって承認されました。

その他については、第33回全国仏教保育京都大会の日野大会実行委員長から、配布資料を基に大会に向けた準備も最終段階に入り、「おもてなしの心」で皆さんをお迎えできるよう整えている。多くの先生方にお越し頂きたいと呼びかけました。

福島の吉岡先生から、13園という小さな組織ではあるが支部結成に向けて一丸となつて準備を進めてきた。5月27日に設立総会を開催できる運びとなった。など経緯の説明がありました。会場は拍手でその労を称えました。

懇親会

増上寺に隣接するザ・プリンスパークタワー東京「スカイパンケット」に会場を移し、八木季生日仏保名誉会長をお迎えして行われました。緑谷理事長、次いで八木名誉会長のご挨拶に続き、恒例の「仏教保育功労賞」が八木名誉会長より、遠藤友彦先生（愛知県）と小俣昌道先生（東京都）の二人に贈られました。（5Pに掲載）乾杯のあとは夜景を愛でながら、和やかに懇親を深めました。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。



はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード(仏教版)2012年度版
税込390円(本体価格372円)
出席シール(仏教版)2012年度版
税込280円(本体価格267円)



平成25年度 事業報告 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

基本方針の生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1. 生命尊重の保育推進
2. 活力ある日仏保
3. 魅力ある日仏保
4. 国際交流・社会貢献のできる日仏保を重点に次の事業を行った。

1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

- (1) 生命尊重の保育推進のための実施、普及活動 (募金運動)

昭和58年より始めた「いかせいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を贈呈。22年度は宮崎県(口蹄疫)、パキスタン(洪水)、23年度、24年度は東日本大震災の被害、被災に対し義援金を送付。25年度はフィリピン(台風)に救援金を送付した。現在までの寄託総額は約1億円にのぼる。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはシール、保護者には「日仏保協会の活動について」を配布。

- (2) 財政確立のための振興活動

1. 支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。又、その他のブロックもアプロ一子を図る。
2. 広告・寄付金の増大を図る。
- (3) 生命尊重の集いの推進

- 4月 京都幼支部「花まつり園児大会」 於、みやこめっせ
- 11月 大阪支部「絵画展」
- 12月 東京支部「釈尊成道を祝う幼児と母のつどい」 於、よみうりホール
- 12月 神奈川支部「成道会の集い」 於、ホテル横浜カーテン
- 12月 京都幼支部「成道会」 於、浄福寺
- 1月 埼玉支部「第29回佛教幼児絵画展」

- 1月 愛知支部「第46回仏教保育絵画展」 於、さいたま市文化センター展示室
- 2月 愛知支部「第4回三河地区仏教保育絵画展」 於、名古屋市民ギャラリー盛小室
- 2月 京都幼支部「涅槃会」 於、金戒光明寺
- (4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行「改訂わかりやすい仏教保育総論」普及促進

2. 調査・研究

- (1) 仏教保育にかかわる調査・研究

1. 「支部講習会等特別助成金」制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各県より要請された講習会等に本部よりの講師の派遣を行った。
2. 本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論」(平成16年2月初版・平成22年11月改訂チャイルド本社刊)は、全国の支部・養成機関でテキストとして活用されている。
3. 養成機関連絡協議会を2月に開催し、研究協議を行った。

- (2) 仏教保育研究所 仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行。
- (3) 仏教教育研究会 仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。

3. 現職教育

- (1) 中央講習会

- ア. 第81回夏期仏教保育講習会 7月22日・23日の両日、東京・増上寺三緑ホールにおいて、東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約150名余の参加を得て開催。講師には浄土宗宝輪寺住職・田中勝道先生(「仏教の話」、絵本作家・宮西達也先生、京都華頂大学教授の吉田博子先生、帝釈天附属ルンビニ

幼稚園園長の早崎淳子先生の他、実技を交えたの2日間の講習会を終えた。
機関紙平成25年8月号第592号に掲載
イ. 第58回関西地区仏教保育研修会
6月20日、大阪国際交流センターに於いて、近畿地区幼稚園・保育園の保育者の参加を得て開催。講師にはクリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所所長・医学博士・夫律子先生を迎えて、「出生前医療の現場から」と題して講義が行われた。
機関紙平成25年8月号第592号に掲載
(2) 支部講習会・セミナー等の開催促進
平成25年度各支部講習会・セミナー等の実施状況

- 3月27日 東京支部「第48回教諭・保育士研修会」 於、浅草寺 100名参加
- 4月20日 長野支部「総会記念講演」 於、善光寺事務局講堂 100名参加
- 4月20日 愛知支部「新任教諭・保育者研修会」 於、東別院本堂下広間 42名参加
- 5月18日 長野支部「新任者研修会」 於、ルンビニ幼稚園 24名参加
- 5月20日 香川支部「仏教保育講座」 於、サン・イレブン高松 40名参加
- 5月25日 三重支部「総会と研修会」 於、高田山宗務院
- 5月29日 埼玉支部「春季研修会」 於、靖佛会館 5・6・9・11・1月
- 6・11月 東京支部「東仏保研究セミナー」 於、飯田橋セントラルプラザ 各54名参加
- 6月1日 栃木支部「教員・保育士研修会」 鶴の木いまいずみ保育園 14名/15名参加
- 6月8日 宇都宮・恵光幼稚園 63名参加
- 6月8日 福井支部「日本仏教保育研修会」 於、新田塚幼稚園ホール 25名参加
- 6月15日 長野支部「講演会」 於、善光寺事務局講堂 100名参加
- 7月6日 京都保支部「第1回職員研修会」

- 7月21・22日 北海道支部「仏教保育研修会」 於、温根湯温泉大家本家・北見さくら幼稚園 130名参加
- 7月30日 埼玉支部「夏季研修会」 於、松島一の坊・桜木花園幼稚園 24名参加
- 8月30・31日 京都幼支部「泊研修会」 於、西本願寺講堂 32名参加
- 9月7日 愛知支部「2学期を迎えるの保育研修会」 於、お東幼稚園 36名参加
- 10月12日 三重支部「三重県・高田派仏教保育協会合同研修」 於、京都 24名参加
- 10月24日 愛知支部「絵画展事前研修会」 於、信真寺幼稚園 16名参加
- 10月28・29日 愛知支部「園長研修会」 飯館村 ルンビニ幼稚園・同朋幼稚園 6名参加
- 11月7日 群馬支部「施設見学会」 於、久喜市認定こども園こどもむら 9名参加
- 11月9日 長野支部「新任者研修会」 於、つなしま保育園 50名参加
- 11月25・26日 栃木支部「理事長・園長研修会」 於、あさやホテル 10名参加
- 12月5日 群馬支部「公開保育並びに施設見学会」 於、大雄保育園・昭和保育園・養保育園・ひろさわ保育園 30名参加
- 12月14日 京都保支部「第2回職員研修会」 於、永観堂禅林寺 30名参加
- 1月10日 愛知支部「絵画展講評会」 於、お東幼稚園 32名参加
- 1月10日 京都幼支部「定例研修会」 於、本願寺中央幼稚園 45名参加
- 1月18日 長野支部「園内研修のまとめ発表」 於、善光寺事務局講堂 100名参加
- 1月25日 京都保支部「第3回職員研修会」 於、月かげ保育園 10名参加
- 1月31日 兵庫支部「研修会」 於、神戸市医師会館 38名参加
- 2月1日 香川支部「冬期仏教保育講座」



- 4・指導者養成
- (1) 平成25年度第1回仏教保育研修会
平成25年5月14日 於、増上寺・三縁ホール
講師 幼保連携型認定こども園こども園のり園長 若盛正城先生
テーマ「認定こども園への移行に向けての今後の課題と取り組み」 95名参加
機関紙平成25年7月号第591号に掲載
 - (2) 平成25年度第2回仏教保育研修会
平成26年1月20日 於、増上寺・三縁ホール
講師 保育システム研究所 吉田正幸先生
テーマ「子ども子育て支援新制度の最新動向」 122名参加
機関紙平成26年3月号第599号に掲載
 - (3) 養成機関連絡協議会
平成26年2月24日 於、芝パークホテル
テーマ「養成校における仏教保育の現状と課題」 参加養成校9校・11名
機関紙平成26年4月号第600号に掲載

- 5・編集・刊行
- (1) 機関紙「仏教保育」月刊 園長・教職員対象
平成25年4月1日発行第588号より平成26年3月1日発行第599号まで、時宜に適した日仏保に関連した事象を取り上げ紙面の充実を図った。
編集委員会は月1回 於、日仏事務所
(2) 「仏教保育カリキュラム」月刊 教職員対象
企画会議 年1回 於、日仏事務所
編集会議 月1回 於、日仏事務所
校正委員会 月1回 於、エフ・コーポレーション
(3) 「ほとけの子」月刊 保護者対象

- 於、香川県立ミュージアム 58名参加
2月7日 群馬支部「研修会」
於、ホテル木暮 20名参加
3月24日 大阪支部「年度末職員研修会」
於、津村別院 50名参加
3月28日 福岡支部「研修会」
於、筑紫女学園中学・高等学校 7名参加

- 仏さまのみ教えを通して、親子共々「心の豊かさ」のある人としての成長を願い編集し、紙面の充実を図る。
企画会議 年1回 於、日仏事務所
編集会議 年4回 於、日仏事務所
(4) 仏教保育教材の編集・監修
1. 「こどものくに」ひまわり版 月刊
年長児対象 編集会議 年3回開催
於、すすき出版
☆「わたしの記録」卒園児に対して配布
2. 「こどものくに」チューリップ版 月刊
年中児対象 企画会議 年3回、
編集会議 年2回 於、すすき出版
3. 「こどものくに」たんぽぽ版 月刊
年少児対象 編集会議 年2回開催
於、日仏事務所
4. 出席カード 編集会議 年1回開催
於、フレール館
5. なつのえほん
編集会議 年1回開催 於、すすき出版
6. ともだちいっばいうれしいな
(すすき出版) 新入園児対象
7. その他必要な教材
(5) 「いかせいのち」日仏保写真・ニュース(未発行)
(6) 日仏保ポスター(未発行)

- (3) 地方組織との連携強化及び育成指導
1. 支部講習会等特別助成金交付制度を適用し、以下の支部に配布。
1. 東京 2. 栃木 3. 兵庫 4. 愛知
5. 福井 6. 群馬 7. 宮城
2. 支部の会議及び事業に本部より訪問し連絡を強化
(4) 保育関係企業との連絡
1. 各企業統括事業の推進及び新規事業も模索(すすき出版、宣協社、フレール館、チャイルド本社、ひかりのくに、世界文化社、学研教育みらい、若越、エフ・コーポレーション等)
2. 新年懇親会にて懇談

- 6・関係団体との連絡提携
- (1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡
1. 公益財団法人全日本仏教会、公益財団法人国際仏教興隆協会への役員派遣、公益社団法人全日本仏教婦人連盟、公益財団法人仏教伝道協会との連絡提携。
2. 日本宗教保育事業協議会(仏教、神道、キリスト教)の振興
(2) 各私立、各宗保育団体との連絡
1. 各私立全国研修会及び会議へ理事長、副理事長、本部の中心メンバーが参加、連絡を図る。
2. 各宗保連の研修会、全国講習会にも同様に出席、連絡を図る

- 7・保育制度対策の活動強化
- (1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査
幼保加盟施設の各地区の現状分析
(2) 保育制度研究会(全国制度対策委員会)
平成26年1月20日
(3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化
ザ・プリンスパークタワー東京にて新年懇親会を開催
機関紙平成26年2月号第598号に掲載

- 8・国際交流、社会貢献の実践
- (1) 国際交流等と社会貢献(災害救援を含む)を積極的に推進
(2) インド菩提樹学園の育成協力
ア. 菩提樹学園訪問と仏跡参拝団派遣(現地治安悪化の為中止)
菩提樹学園運営委員会の開催
於、日仏事務所
イ. 運営基金の管理運用
ウ. 運営及び育成指導への協力
(3) オメツ(OMEP)に協力

- 10・その他必要な事業
- (1) 会員加入促進運動
(2) 加盟施設名簿作成
(3) 将来検討委員会の開催(未実施)
(4) 東日本大震災被災園救援(会費免除等)
(5) 奉祝花まつり・暑中見舞い広告・成道会等の協賛広告
(6) 各種出版物・教材販売の促進
(7) ホームページの充実
(8) その他
「仏教保育なるほど12か月」「改訂わかりやすい仏教保育総論」「仏教行事パネルシアター」の普及促進 ミュージカル「ブッダ」後援 東映「ブッダ2」推奨

- 9・奨励事業
- (1) 日本仏教保育協会賞 本年度養成機関卒業生
平成25年度 30名/30校

- ◆会議
- (1) 5月8日 平成24年度業務・経理監査会 於、日仏事務所
(2) 5月14日 第4回理事会・第3回運営審議委員会・第2回社員総会・平成25年度第1回仏教保育研修会 於、増上寺・三縁ホール
(3) 1月20日 第5回理事会・第5回運営審議委員会・26年度第2回仏教保育研修会 於、増上寺・三縁ホール
機関紙平成26年2月号第598号に掲載
(4) 常任理事会・事務局会議 年11回開催 於、日仏事務所 以上

お二人に

“仏教保育功労賞” 贈呈

遠藤友彦先生

(日仏保参務、川中保育園・愛知県名古屋市長)



昭和37年、曹洞宗乗圓寺住職となり現在に至る。昭和54年、社会福祉法人・川中保育園園長兼理事長(現理事長)。平成4年から19年まで愛知県仏教保育協会会長。平成16年、名古屋市北区保育協会会長。平成19年、民生・児童委員、名古屋市理事、北区支部長。その他、愛知県仏教会檀信徒部長等)

小俣昌道先生

(日仏保参務、行慶寺ルンビニ幼稚園・東京都品川区)



昭和43年、京都大学法学部卒業。平成2年、玉川大学文学部教育学科修了。平成3年から25年まで行慶寺ルンビニ幼稚園園長。平成9年、立正大学非常勤講師、平成15年、淑徳幼児教育専門学校学術顧問・非常勤講師。平成19年、品川区立学前乳幼児教育施設ふりすくーの西五反田園長、現在は代表理事。平成22年、日仏保第6回持田賞受賞、平成23年、品川区教育文化功労者特別表彰。現在、特定非営利活動法人子育て品川代表理事。

第33回全国仏教保育京都大会

『おもてなしの心』

— 懇親会のご案内 —

法光院保育園
園長 三好 東洋



今回、私は会場内とアトラクションを担当させて頂いております。大会テーマである「つまれるいのち」と皆様が持つておられる京都のイメージを考えると、頭の中で竹林が浮かんできました。かぐや姫のお話にも出てきます、生命誕生の場所であり、竹の持つている神秘的なパワーと生命力。テレビドラマでもたびたび登場する竹林。それを大会で少しでも表現できないかと考え、会場内装飾とアトラクションで演奏して頂く京都洛西竹太筒を考えました。

制限のある会場内で、竹林オブリジェや竹灯籠、竹を利用し制作した竹太鼓で少しでも京都と「つまれるいのち」を感じていただけたら幸いです。

むらさき幼稚園
園長 家田 光信



銘竹(特に孟宗)で名高い京の西山(特に嵐山の保津川(桂川)で北山(小倉山)と分かち、山崎の天王山に至るまでの10kmほどもあるうかと思いき南面の山里には、竹をはじめ富有柿や京野菜など、地名とか屋号のブランド品を産み出す。

生活の用度品や細工(エジソンの電球発明に供したとも伝わる)の竹を育てる敷には直径30cmもあるう竹がひしめき、日も差し込まないほど密集している。夏には涼を求める小道散策の人で賑わう。

節々に右、左と別れて出る枝は地上高10mほどより上部に



(太陽光を求めて)張り巡らせるので昼なお暗く、その空間を流れる風は涼しく、上からは涼やかな葉音を奏でてくれます。そして子どもには夢をいっばいプレゼントしてくれるのです。かぐや姫の…。

仕掛人は私や職員、年長児や保護者で、顔より太い竹に小さな耳を当てて抱き着くその頭の上で爪でコリコリと信号を送ると、「ホントや！イヤハルー」という声があつちでもこつちで

も、そのうちに「エンチョもつとやつてー」とカラクリがばれているのです。

竹は真つ直ぐに伸び、節から一對の枝は長くても2mほどにしか広がらず静寂、思惟、創造など道を求める人たちに最も親しまれています。作務の道具や花器、茶道具それぞれ分野を彩ります。中でも法然院の「鹿おどし」は無常の時を刻み、京ならではの文化でしょう。



小松谷保育園
園長 吉澤 浩則

京都の夏にお越しやす。

大会懇親会のアトラクションとして高校生のチアリーダー部を迎えます。演じてくれるのは全国大会で常にトップを維持し続けているチーム、真面目自由学園(大阪)のチアリーダー部です。

生かされる命を頂いた若者が、生き活きとして活動している。熱い思いをクラブ活動に傾け、一所懸命に活躍しようとしている。そんな高校生の躍動するエネルギーを間近に感じ取って頂き、元氣と勇氣と、そして熱意を持って「命をいかす保育」にあたっていければいいなと思っています。

今回、京都大会が開催されるのは7月末。京都の夏は祇園祭に始まります。祭囃子と共にやってくる蒸し暑い京都の夏。活力あふれる「朱」い夏。涼しげな竹の風情をバックに、高貴で雅な「紫」とのコントラストをもって、京都らしい大会で皆様をお迎えしたいと思います。



板橋保育園
副園長 黒坂 陽平

この度、全国仏教保育京都大会の懇親会で地酒コーナーを担当させて頂く黒坂と申します。

酒造りには、一升の酒に八升の水があると云われ、なかでも良質の豊富な水に恵まれることが酒造地の条件と言います。

京都南部にある伏見は、かつて「伏水」とも書かれていたほど質の高い伏流水が豊富な地で、日本を代表する酒どころとなったのもこの天然の良水に恵まれたことが大きな要因です。

今大会で日本各地よりお集まりになられる大勢の先生方をおもてなしするため、京都の伏見酒造組合様のご協力の下、豊かな自然風土に恵まれ京文化に磨き上げられ、明治の後半には天下の酒どころとして全国に名をとどろかせた伏見の清酒でお出迎えさせていただきます。

懇親会では、ぜひとも伏見の清酒を堪能して頂き、ご歓談を楽しんで頂きたいと思えます。お集まりになられる皆様の京都でのひとときに花を添えられることを楽しみに準備を進め、たくさんさんの参加をお待ちしております。



松尾幼稚園
副園長 日野 昭文

懇親会の「清興」に祇園の舞妓さんをお招きしています。「研究会の懇親会に舞妓？」とお考えの方がいらっしゃるかもしれません。敢えて舞妓さんの登場にこだわりました。

京都の舞妓さんは江戸時代の

中期に、有名社寺の門前町で参拝客相手にお茶や団子を提供する茶店が、集客のために少女にかわいい着物を着せて舞を踊らせたことが始まりと言われています。舞妓さんは一人前の芸妓さんになる前の呼び名で、大正時代に定着して、京都だけで呼ばれています。

舞妓さんや芸妓さんは、永い伝統に培われた礼儀作法や芸事を学んでいます。舞、鳴り物、三味線のほか、能楽や長唄、浄瑠璃だけでなく、華道に書道、英会話などを芸事への情熱と向上心の続くかぎり年齢に関係なく切磋琢磨して一生学び続けているのです。彼女たちは、今や世界の歴史文化都市京都の伝統文化継承にとって欠かせない大切な存在となっています。ご参加の先生方に、華やかな舞妓さんや芸妓さんを目の当たりにして、同じ女性職能人としての情熱と意欲を感じて頂ければ幸いです。

最終締切り近づく!!

今すぐ参加申し込みを

お待ちしております。



「福島県仏教保育協会設立総会」開催!!

加盟園の熱意実り、満場一致で承認

平成26年5月27日 / 須賀川幼稚園 (須賀川市)

吉岡先生と

高山常任理事



福島県仏教協会会長
丹治有勝老師



福島支部代表
吉岡先生(右)と
日仏保・緑谷理事



福島県仏教保育協会設立総会

平成26年5月27日、須賀川幼稚園に設えた設立総会の会場には心地良い緊張感と期待感がほどよく漂っていました。そして午後2時、「福島県仏教保育協会設立」の賛否を問う総会は日仏保・緑谷理事長、高山常任理事、古屋常任理事出席のもとスタートしました。

三婦依文斉唱、代表挨拶、加盟園紹介、祝辞、と続くセレモニーは定番の流れですが、先生方の胸中には熱い思いが込められていました。

東日本大震災による大津波、それに伴う福島原発事故は世界を震撼させ、人智で計り知れない自然界の怖さを知らされました。3年余を経過してなお未だ帰れず、仮設で暮らす人々は後を絶ちません。

そんな過酷な状況の中で仏教保育を司る先生方は、子どもたちの安全と最善の利益を守るため、地域での連携を深めながら努力を続けてこられました。そして今、その輪を更に広げるべく、公益社団法人日本仏教保育協会加盟への福島支部結成の結実の時を迎えたのです。

会則の承認から始まる7つの議案の中には、今夏の第33回京都大会に次いで「第34回全国仏教保育福島大会」(平成28年実施)開催引き受けを視野に入れた議案が上程されていました。しかも、全体会・分科会の素案、会場の検討まで含めた企画書も用意されていました。この一事をもつても福島県の先生方の熱意がわかっていくというものです。

総会に上程した議案はすべて満場一致で承認され、茲に「福島県仏教保育協会」が誕生しました。

福島県支部設立は、故・上村映雄先生(理事長)の悲願でした。この快挙を泉下で喜んでおられることでしょう。

以下は要旨です。

●福島県仏教保育協会は5月27日、正式な承認を得てスタートしました。ご賛同頂いた加盟園およびご指導くださった公社・日本仏教保育協会の方々のお陰であり、心より感謝申し上げます。〓

花まつり

(敬称略)

園 千 230 0063 長 山崎 和子 Tel. 045-573-8819	園 千 049 2672 長 菅原 諭貴 Tel. 0137-66-2676	園 千 201 0004 長 佐藤 正仁 Tel. 03-3489-0934	園 千 809 0034 長 花田 郁実 Tel. 093-245-0419	園 千 174 8631 長 前原 英明 Tel. 03-3966-7631	園 千 984 0816 長 金山 道雄 Tel. 022-222-8480
園 千 380 0921 長 金子 英昭 Tel. 026-226-7685	園 千 616 8044 長 川井 戒本 Tel. 075-461-9428	園 千 812 0017 長 古賀 成磨 Tel. 092-441-9715	園 千 615 8296 長 日野 昭文 Tel. 075-381-2591	園 千 191 0034 長 清水 博雅 Tel. 042-591-1687	園 千 983 0005 長 三浦 宗格 Tel. 022-258-0026
園 千 230 0063 長 山崎 和子 Tel. 045-573-8819	園 千 049 2672 長 菅原 諭貴 Tel. 0137-66-2676	園 千 201 0004 長 佐藤 正仁 Tel. 03-3489-0934	園 千 809 0034 長 花田 郁実 Tel. 093-245-0419	園 千 174 8631 長 前原 英明 Tel. 03-3966-7631	園 千 984 0816 長 金山 道雄 Tel. 022-222-8480
園 千 380 0921 長 金子 英昭 Tel. 026-226-7685	園 千 616 8044 長 川井 戒本 Tel. 075-461-9428	園 千 812 0017 長 古賀 成磨 Tel. 092-441-9715	園 千 615 8296 長 日野 昭文 Tel. 075-381-2591	園 千 191 0034 長 清水 博雅 Tel. 042-591-1687	園 千 983 0005 長 三浦 宗格 Tel. 022-258-0026

